

小さな子供を持つ“今どきママ”たちのアイスクリーム・ライフ

アイスクリーム白書2003

アイスクリームは子どもと一緒に食べたいおやつNO.1

“今どきママ”たちのアイスな生活

▶ 調査設計

参考資料 “今どきママ”ってこんな人！

- 1 子どもと一緒に食べたいおやつはアイスクリーム
- 2 子どもには安心・安全なアイスクリームを
- 3 アイスクリームはシーズンレスなお手軽デザート
- 4 “今どきママ”は子どもの頃からアイスクリームが大好き

調査設計

社団法人日本アイスクリーム協会では、1997年より幅広い生活者を対象に、アイスクリームに関する意識調査を実施し、調査結果を「アイスクリーム白書」としてまとめ、毎年、発表しております。本年は、6歳以下の未就学の子どもをもつ“今どきママ”たちのアイスクリームに関する意識や実態、子どもとお母さんとのアイスクリームな関係について調査を実施。この結果を「アイスクリーム白書2003 “今どきママ”たちのアイスクリーム・ライフ」としてまとめ、ご報告させていただきます。

■調査テーマ 「欲しいものはなんでも手に入れる」世代の20～30代のお母さん。彼女たち自身のアイスクリームに関する意識や、子どもへのアイスクリームの与え方を通して、“今どきママ”たちの意識を浮き彫りにします。

■調査項目 ●“今どきママ”たちのアイスクリーム傾向

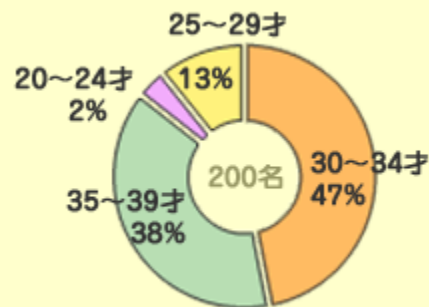
- ・アイスクリームイメージと役割
- ・子どもへのアイスクリームの与え方
- ・“今どきママ”たちのアイスクリーム志向の変化
- ・“今どきママ”たちのデザートイメージ

[参考資料] “今どきママ”たちのライフスタイル

■調査方法 ●調査地域 首都圏
●調査対象者 長子が6歳以下の子供を持つ20～30代のお母さん 200名
●調査方法 郵送による自記入法

■調査期間 2003年3月8日(土)～17日(月)

■調査対象者



参考資料

“今どきママ”ってこんな人！

何事にもアクティブ！生活エンジョイ型

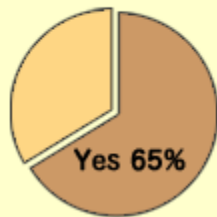
“今どきママ”たちに、買い物や子どもの教育、社会的興味などのライフスタイルについてたずねてみました。

その結果、“今どきママ”たちは独身時代とライフスタイルが変わらず(75%)、よく外食をしたり(47%)、無農薬野菜や有機野菜を買うことが多く(85%)、気に入ったものだったら高くても買って(65%)、自分が楽しんだり質の高い生活をするのに積極的であることがわかりました。これは、自分のためのアイスを選ぶときに価格よりも質を重視する傾向にも反映されているのかもしれませんが。それと同時に、子どもに対しても積極的で、子どものおやつには健康にいいものや栄養の高いものを与えたい(75%)、子どものための保険や預貯金をしている(89%)、他人の子どもでも叱ることがある(73%)など、母親としての責任感と自覚も強いことがわかります。子どものためのアイス選びに安全性を求めている“今どきママ”が多いことにもうなずけますよね。また、政治や経済に興味があり(50%)、環境問題への関心が高い(57%)など、社会性も持ちあわせているのが“今どきママ”のスタイルです。

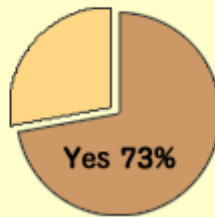
家事や育児に追われていても自分を磨くことを忘れない、何事にもアクティブで、生活をエンジョイしている“今どきママ”たちの姿が見えてくる調査結果となりました。

■自分のライフスタイルについて

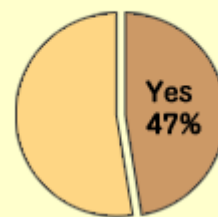
気に入った物なら高くても買う



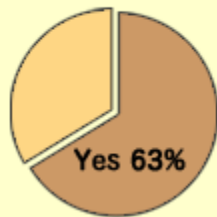
独身時代や子どもが生まれる前と現在とではライフスタイルに大きな変化はない



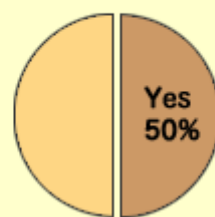
よく外食をする



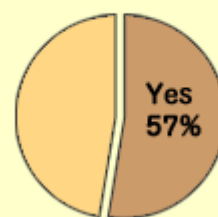
無農薬野菜や有機野菜を買うことが多い



政治や経済に関心がある

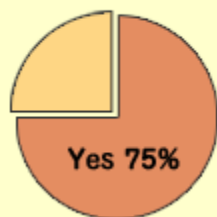


環境問題への関心が高い



育児教育について

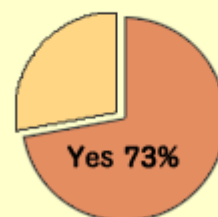
子どものための保険や預貯金をしている



子どものおやつには健康にいいものや栄養の高いものを与えたい



他人の子どもでも叱ることがある



1 子どもと一緒に食べたいおやつはアイスクリーム

1.子どもとアイスクリーム

“今どきママ”たちがアイスクリームと一緒に食べたいと思うのは、ご主人や友だちを大きく引き離し、「子ども」とがトップ。ヨーグルトやスナック菓子などの他のお菓子の中でも、子どもと一緒に食べるデザートでは、アイスクリームがトップになっており、子どもに与えるおやつとしても、アイスクリームは高い登場頻度を示しています。

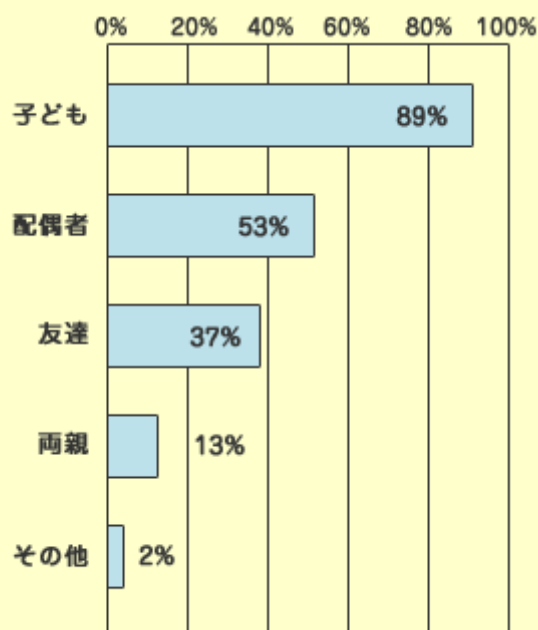
“今どきママ”が好きなフレーバー、子どもが好きなフレーバーとも、第1位は定番のバニラ味。子どもがチョコレートやストロベリーなどを好むのに対して、“今どきママ”は抹茶やラムレーズンなどを嗜好。普通のデザートではフレーバーが限定されがちですが、アイスクリームなら色々な味のバリエーションがあるから、大人も子どもも一緒に楽しめます。

おやつとしての登場頻度が高く、ママと一緒に食べることが最も多いアイスクリーム。「ママの味といえばアイスクリーム」が定番になる日も近いようです。

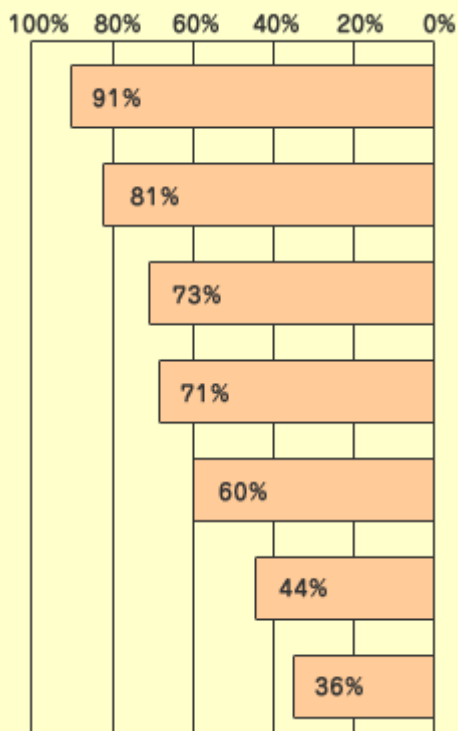
■好きなフレーバー

今どきママ		子ども
バニラ (72%)	1位	バニラ (84%)
チョコレート(55%)	2位	チョコレート(72%)
抹茶 (51%)	3位	ストロベリー(63%)
ストロベリー(40%)	4位	ソーダ味(47%)
ラムレーズン(33%)	5位	オレンジ(33%)
コーヒー (32%)	6位	メロン (31%)
キャラメル(32%)	7位	アップル(23%)
あずき(32%)	8位	抹茶(17%)
紅茶(28%)	9位	キャラメル(11%)
ヨーグルト(21%)	10位	あずき(10%)

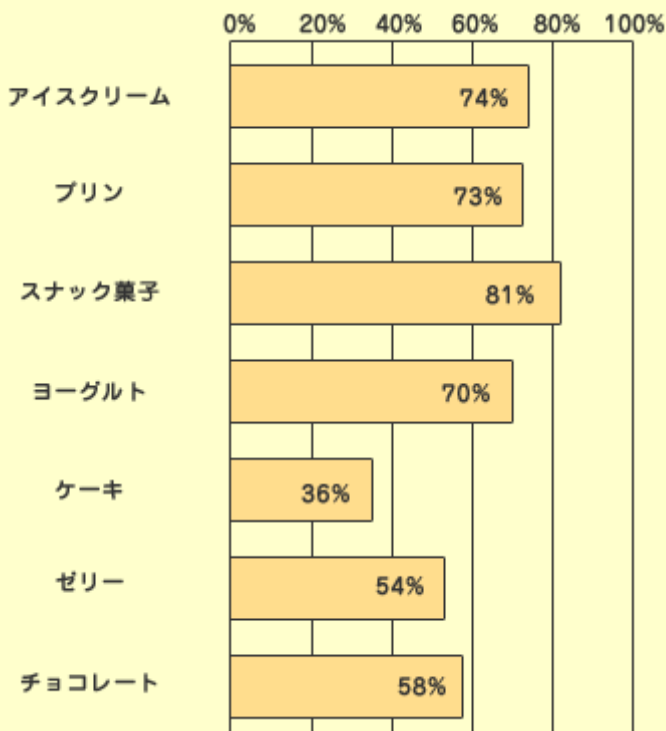
■アイスクリームと一緒に食べたい相手



■子どもと一緒に食べたいおやつ



■子どもに与えているおやつ



2 子どもには安心・安全なアイスクリームを

2.子どものアイスクリームを選ぶ基準

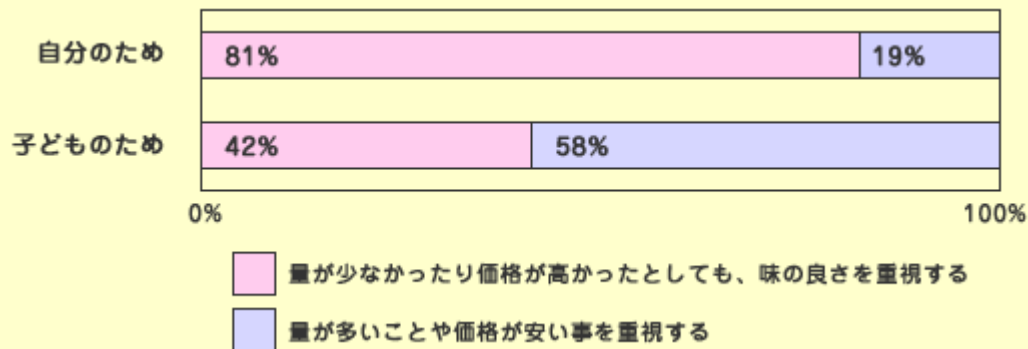
“今どきママ”たちが自分が食べるためにアイスクリームを買うとき、重視しているのは「味の良さ」。

量が少なくても、また価格が高くとも、おいしいと思えるものを選ぶ傾向が高くなっています。一方、子どものために買うときは、「量の多さ」や「価格の安さ」を優先する傾向に。味の良さにこだわったママ自身のためのアイスクリーム選びとは、選択の基準が異なっています。

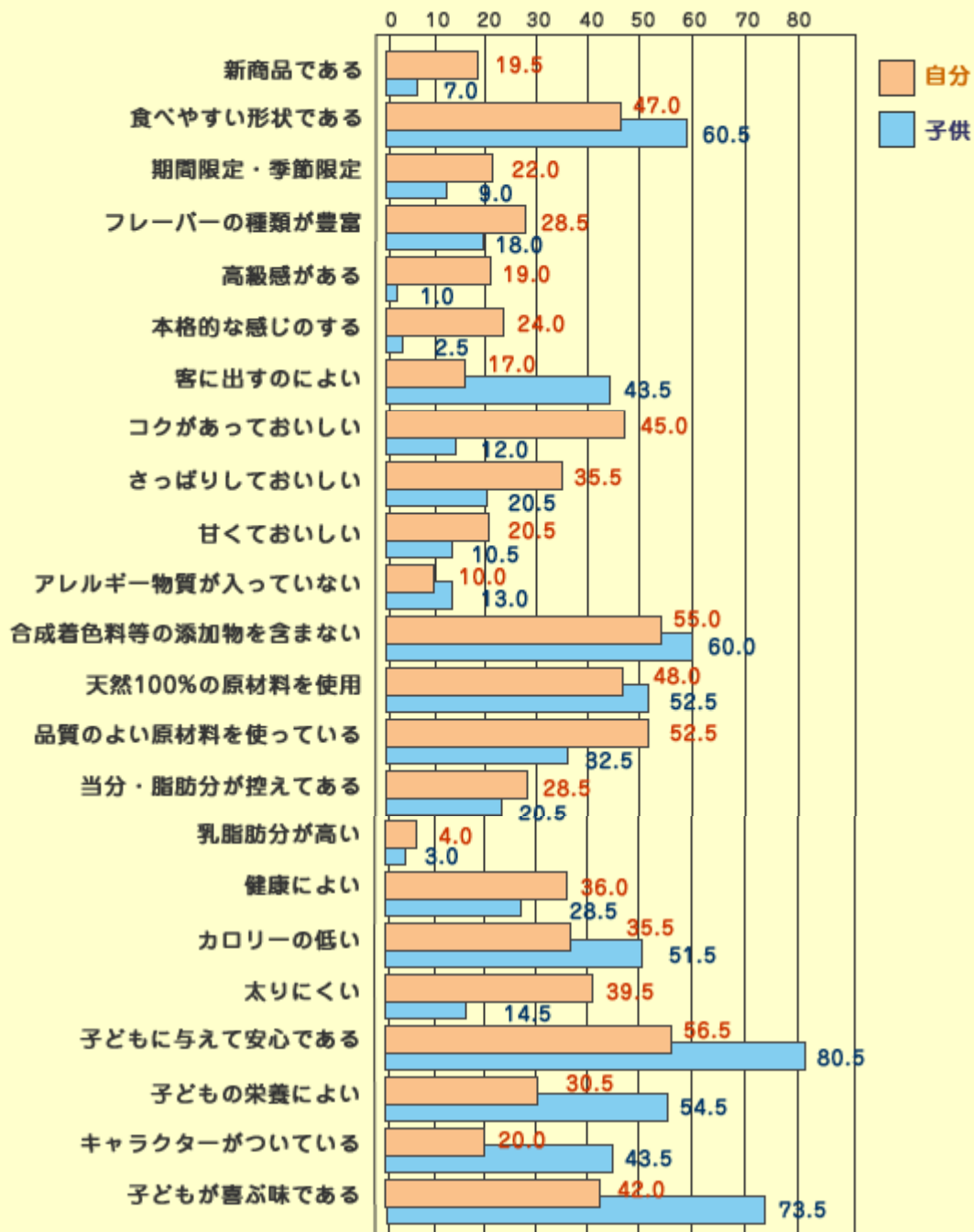
この結果は、一見“今どきママ”たちの自分本位でワガママな姿を反映しているように思えますが、アイスクリームへの要望点を見ていくと、ママたちの子どもの健康を気遣う姿が見えてきます。「子供に与えて安心」なアイスクリームであることを第一に求めていること、また健康志向の現れとして子供への栄養面を望む声が高くなっています。

“今どきママ”たちがアイスクリームを選ぶとき、そこには健やかな子どもの成長を望むママの優しさが現れているのです。

■アイスクリーム購入時の気持ち



■アイスクリーム購入時の要望点



3 アイスクリームはシーズンレスなお手軽デザート

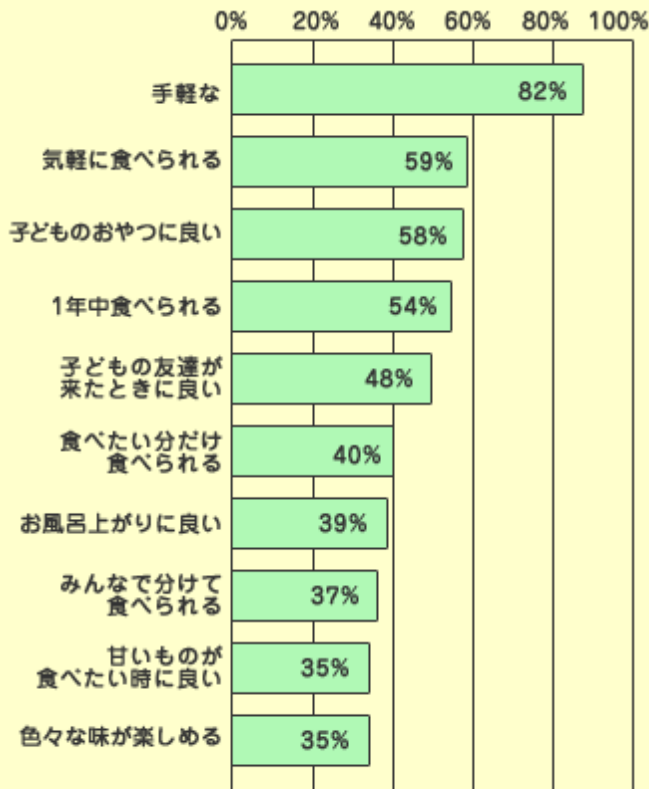
3.“今どきママ”たちのアイスクリーム傾向

“今どきママ”たちに市販のアイスクリームイメージを聞くと、「手軽で」「気軽に」「1年中食べられる」デイリーなデザートとして受け止められ、「子どものおやつによい」という意見が多くなっています。

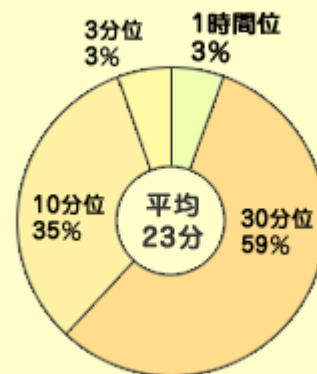
実際に日常生活の中でアイスクリームを食べているシーンをあげてもらくと、「冷たいものが食べたいとき」や「甘いものが食べたいとき」などの生理的欲求から食べるシーンが多くなっていますが、アイスクリームを食べたいと思うときの理想的なシーンでは「食後のデザート」が最も高く、「疲れを癒したいとき」「リラックスしたいとき」にアイスクリームを食べるのは、現実よりも理想のシーンとしての方が高くなっています。

また、アイスクリームを食べてくつろぐのに欲しい時間は「30分ぐらい」という意見が最も多く、毎日の育児にお疲れの“今どきママ”たちにとって、アイスクリームは気持ち的にも「ほっ」とできる最も身近な癒し系デザートとしての役割ももっているようです。

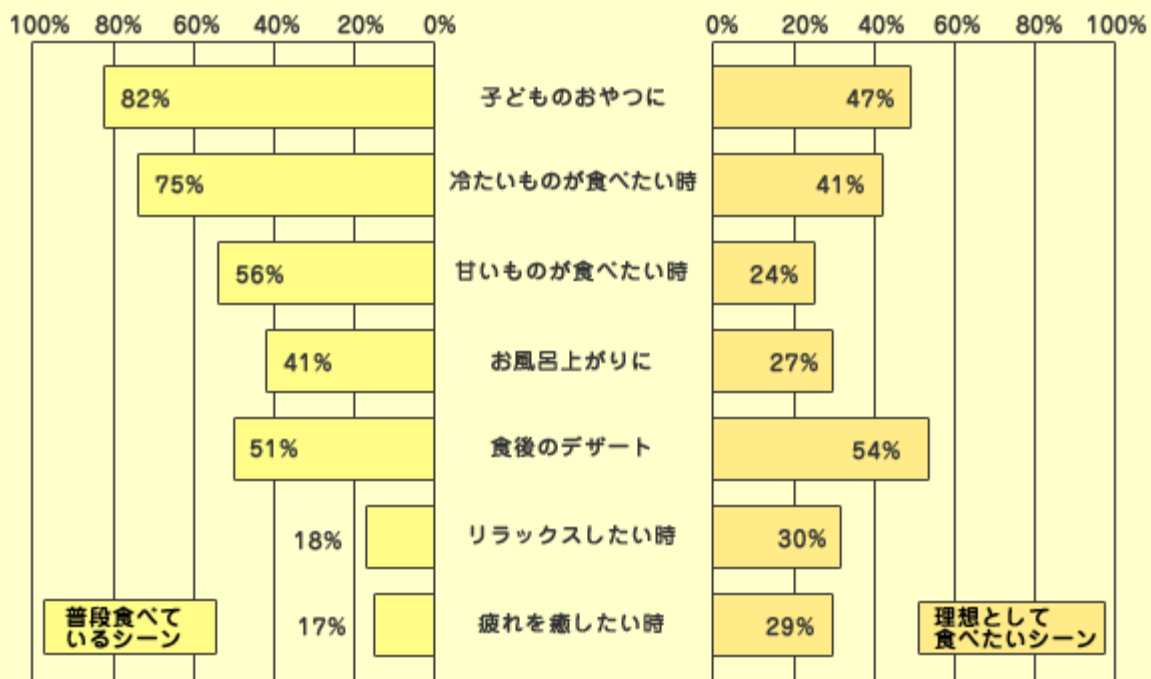
■ “今どきママ”たちのアイスクリームイメージ



■ “今どきママ”たちのアイスクリームタイム



■”今どきママ”たちのアイスクリームシーン



4 “今どきママ”は子どもの頃からアイスクリームが大好き

4.“今どきママ”たちのアイスクリーム変遷史

“今どきママ”たちはアイスクリームを子どもの頃から身近なおやつ、あるいはデザートとして親しんできました。その遍歴をたどってみると、ユニークな結果が見えてきます。

幼少～小学生の頃、好きだったアイスクリームといえばバータイプやカップタイプ。成長するにともななって幅広い種類へと嗜好は広がりますが、高校卒業～結婚前となるとプレミアムタイプに集約。大人になるにつれ高級志向になっているのが伺えます。それに合わせて、購入頻度は週1回以上から、週1回程度、そして月2～3回と減少。

また、それぞれの時代における購入場所は、商店街等の菓子屋から専門店・コンビニへと変化。子育て中の現在は、カップタイプも含め再び様々な種類を選ぶようになっていますが、その購入場所は主としてスーパーです。

こうした変遷は、“今どきママ”たちが過ごしてきた時代の変化と、ライフスタイルの変化を映し出している結果でもあります。

“今どきママ”たちに子ども時代のアイスクリームへの気持ちを訪ねると、「食べるのが楽しみだった」という声が多く聞かれます。時代とともに購入シーンは変わっても、子どもの頃の楽しい思い出があるからこそ、“今どきママ”たちは今もアイスクリームが大好きなんですね。

幼児期～小学生

中・高校生

独身時代

<p>バータイプを週に2.3回 近所のお菓子屋さんで</p> <p>タイプ：バータイプ 65% カップタイプ 48% 袋入り 26%</p> <p>頻度：週2～3回以上 31% 週1回 21%</p> <p>場所：商店街の菓子屋 74% スーパー 28%</p>	<p>週1回、いろんなタイプ を試し買い</p> <p>タイプ：プレミアムタイプ 33% バータイプ 31% カップタイプ 25%</p> <p>頻度：週1回 27% 週2～3回以上 21%</p> <p>場所：商店街の菓子屋 39% コンビニエンス 39% スーパー 28%</p>	<p>プレミアムアイスが 会社帰りのお楽しみ</p> <p>タイプ：プレミアムタイプ 33% カップタイプ 25% コーン/モナカ 13%</p> <p>頻度：月2～3回 21% 週1回 27%</p> <p>場所：コンビニエンス 65% スーパー 41% デパート 22%</p>
--	---	--

子どものいる現在

結婚後

<p>子どもと一緒に自分の時間に アイスはやめられない</p> <p>タイプ：プレミアムタイプ 47% カップタイプ 17% ひとくちタイプ 14%</p> <p>頻度：月1回 25% 月2～3回 24%</p> <p>場所：スーパー 86% コンビニエンス 68% デパート/商店街 9%</p>	<p>結婚してもコンビニ ご愛用</p> <p>タイプ：プレミアムタイプ 47% カップタイプ 17% コーン 14%</p> <p>頻度：月2～3回 26% 週1回 19%</p> <p>場所：コンビニエンス 69% スーパー 62% デパート 12%</p>
---	--

